

2026年1月14日

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

ホソカワミクロン株式会社

当社は、取締役会全体としての実効性を高め、その機能の向上を図ることにより企業価値を高めていくことを目的として、2025年の取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、下記のとおり、その概要につき公表いたします。

1. 取締役会実効性評価実施要領

(1) 対象者：全取締役会メンバー（合計11名）

取締役8名（うち独立社外取締役4名）、監査役3名（うち独立社外監査役2名）

(2) 評価方法：無記名によるアンケート方式（2025年11月21日から12月18日）

(3) 質問概要：全41問（5段階評価による設問39問、自由記載2問）

〔設問項目〕

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ① 取締役会の在り方（1問） | ⑨ トレーニング（1問） |
| ② 取締役会の構成（1問） | ⑩ 株主（投資家）との対話（2問） |
| ③ 取締役会の運営（4問） | ⑪ 自身の取組み（4問） |
| ④ 取締役会の議論（8問） | ⑫ 指名委員会・報酬委員会の運営（7問） |
| ⑤ 取締役会のモニタリング（6問） | ⑬ 総括（2問） |
| ⑥ 社内取締役のパフォーマンス（2問） | |
| ⑦ 社外取締役のパフォーマンス（2問） | |
| ⑧ 取締役・監査役に対する支援体制（1問） | |

(4) アンケートの集計：アンケート結果は自社にて取り纏め

2. 取締役会実効性総合評価

今回のアンケート結果から、概ね肯定的な評価が得られており、全体として当社取締役会の実効性は確保されていると認識しております。

前回実施した実効性評価では、指名・報酬委員会の運営に対する評価が相対的に低い結果となっておりましたが、改善に取り組んだ結果、まだ課題は残っているものの、改善の結果は現れてきていると認識しております。

一方で、取締役会の議論に関する評価では、KPIの設定や議論の在り方等に対する意見が出され、取締役会機能のさらなる向上、議論の活性化に向けた課題について共有いたしました。

3. 評価結果から抽出された課題

(1) 評価 1 (不適切または不十分) との回答が 1 つでもあった設問に対する検討課題は以下の通りです。

項目	課題等検討事項
取締役会の議論	<ul style="list-style-type: none"> データとデジタル技術を活用し、どのように変化に対応していくか、また顧客や社会にどのような価値を創出していくかといったビジョンについての十分な議論の実施

(2) 評価 2 (やや不適切またはやや不十分) との回答が 1 つでもあった設問に対する検討課題は以下の通りです。

項目	課題等検討事項
取締役会の運営	<ul style="list-style-type: none"> 事前説明のタイミングや内容の検討
取締役会の議論	<ul style="list-style-type: none"> 会社が持続的な成長を実現できるような KPI の設定 外部環境の変化に応じた経営戦略や経営計画等の更新、修正に向けた議論 企業価値向上に資する人的資本や知的財産への投資の実行及び監督・モニタリング
取締役会のモニタリング機能	<ul style="list-style-type: none"> 経営陣の報酬制度の設計及び適切な決定 子会社を含めたグループ全体の内部統制システムの運用状況の監督及び監視 グループ全体の潜在的なリスクと対処方法、危機管理体制等についての監督 過年度の取締役会実効性評価で抽出された課題についての対処方法の議論及び対応
トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 社外取締役向けの研修やトレーニングの機会提供
自身の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 事前説明等、議案内容の理解を高める取り組み
指名・報酬委員会の運営	<ul style="list-style-type: none"> 自由闊達かつ建設的な議論や意見交換の実施 委員会での議論内容の取締役会への十分な共有

4. 今後の対応

当社取締役会は、上記の分析及び評価結果を踏まえ、抽出された課題を真摯に受け止め、課題について十分な検討を行ったうえで、取締役会全体の実効性を高める取り組みを継続的に進めてまいります。

以上